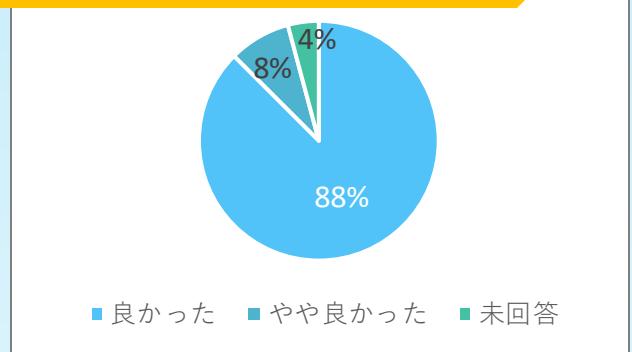
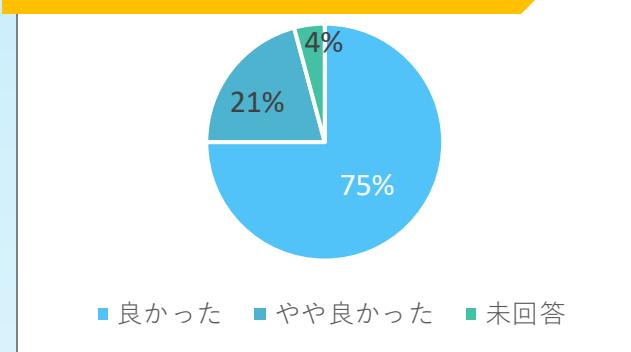


ごみゼロカフェ NEWS

第1部 橋処理センター見学について



第2部 ワークショップについて



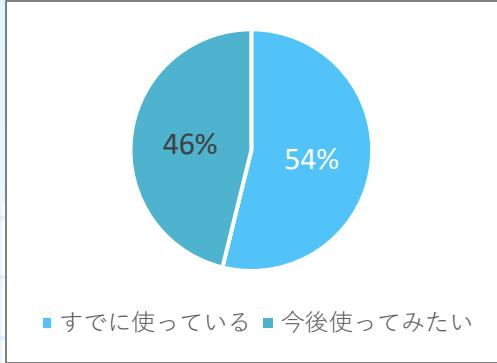
橋処理センター施設見学会同時開催！ 川崎の未来を考えるワークショップ

第1部は、橋処理センター(ごみ処理施設)にてごみ焼却処理施設、ミックスペーパー資源化施設の見学を行いました。
第2部は、施設内の会議室にて、参加者全体に向けて川崎市のごみの行政計画の概要・トークテーマの背景について講義を行った後、グループに分かれプラスチック・ファッション・食品ロスの3つのテーマについてどうすれば周りの人や友人の行動変容に繋げられるかを話し合い、各班が設定した身近なターゲットに向けた解決策を発表していただきました。

循環経済の視点からリサイクルやリユースされた製品を使いたいと思いますか？

■すでに使っている理由

- ・使っていてエコだなと感じる。
- ・安い。
- ・貢献したいから。
- ・詰め替え商品だと、ボトルなどがかさばるものがでない。
- ・自分の少しの行動で(地球)市がよりエコになってほしいから。
- ・我が家にあるトイレトーパーなどがリサイクルされたものかなと思ったためです。
- ・シャンプーの詰め替えボトルとか。
- ・リサイクルに関心があるため使用している。
- ・値段が環境に反映されて高いなら買わないが、リサイクル、リユースされた製品なら使いたい。
- ・いい気分(エコな気分)になれるから。



■今後使いたい理由

- ・今回の見学でごみに対する意識が変わった。
- ・地球に優しい活動をしたい。
- ・現在、どんなものがリサイクル品なのか分からない。
- ・資源を大切にしようという意識が高まったから。
- ・商品選びの利点、長所の一つになるから。
- ・コスト、環境負荷を減らしたい。
- ・3Rを意識した方が環境にいいと思うので使いたい
- ・商品を見ただけでリサイクルかどうか分からないことも少なくないので、もっと消費者の意識改革が必要ではないか。
- ・使いたいと思うが、どの製品が該当するのかわかりず、値段も少し高かったりするのでとってしまいます…。
- ・リサイクルやリユース製品について詳しく調べて、使っていきたいです
- ・他の人の考えを変えることは難しいが、自分が取り組むことは簡単なので、小さなことから取り組んでいきたいと思ったから。
- ・再生紙のトイレトーパーなどはいつのまにか使っているので自主的にリサイクルやリユースされた製品も買っていきたい。



第3回ごみゼロカフェ 開催概要

開催日時 2025年2月15日(土) 13:15~16:00
 開催場所 橋処理センター・会議室
 参加人数 26名
 内容 第1部は橋処理センター(ごみ処理施設)見学、第2部はプラスチックごみ、ファッション、食品ロスをテーマに資源循環のアイデアをグループトークしていただきました。





第1部 ごみ処理施設見学

第1部では、2024年に竣工したばかりの新しいごみ処理施設「橘処理センター」のごみ焼却処理施設、ミックスペーパー資源化処理施設を見学しました。



ごみ処理場ときくとどうしても「つまらない」「汚い」といったイメージが強かったのですが、建物もキレイでクレーンの大きさがわかる工夫などもあり、いい意味で裏切られました！



施設内を分かりやすく説明していただき、知らないことをたくさんインプットできました。

参加者の感想

- リアルで見ることで規模感とかが分かるから。
- 新しい施設でとても分かりやすかった。
- 流れ（ごみ処理の）が分かりやすかった。
- ごみの分別は手作業で大変だなと感じた。
- 知らないリサイクル法を知れて良かった。
- 写真ではなく、実物で見れて感動した。
- 最新鋭の施設が見られてよかった。
- 実際の施設を見ることができたのでおもしろかった。
- もっと時間が長くてよかった。
- ミックスペーパーを人の手で分別しているのに驚いた。
- 昔、訪れたごみ処理センターを想像していたので凄く綺麗だった。
- 最新施設を見れたことは興味深かった。
- 間近でみる機会がないので感動した。
- 機械がかっこよかった。

- 処理するときに放出される熱エネルギーを電気エネルギーに変えるのはとてもエコだなと感じた。
- 処理センターの内部の構造まで見学することができ、実際にごみがどのように処理されているのかを知ることができた。
- みなさんがお仕事をされている様子や、ごみの処理の流れ、様子などを見せていただくことができて嬉しかった。
- もっとじっくり見たかったとも思った。
- 小学生の時の見学をあまり覚えていなかったのと、建物が変わったことからぜひ見学してみたかったのが貴重な経験になった。
- 新しくなった処理センターを見られてよかった。以前と今でどう変わったのか、もう少し比較の要素があるとよりよかったかと思う。処理の様子はぜひYouTubeで配信してほしい。ずっと見ていられるなど感じた。
- 新しい処理センターを見学できて良かった。様々な過程を経て、ごみをひとまとめにできるのがすごいと思った。

川崎市のミッション



2050年を見据え、目指すべき将来像

『地球環境にやさしい持続可能なまちの実現』

川崎の強みである高度なリサイクル産業や環境意識の高い市民・事業者と協力して、資源循環・循環経済への移行や廃棄物焼却の削減を進めることが使命。燃やされるごみを減らす「資源循環」と「脱炭素化」の更なる推進

ごみゼロカフェサポーターになりませんか？

サポーターの詳細はこちら▼

“ごみゼロカフェ”は、施設見学や講師からのお話を通して、ごみの減量化・資源化について考えるイベントとして年3回開催します。カフェのようにつろぎながら意見交換し、ごみの減量化のアイデア出しをしていきます。“ごみゼロカフェ”では、ワークショップの進行や受付等運営のお手伝いをしてくださる“ごみゼロカフェサポーター”を募集しています。



川崎市ごみゼロカフェ

検索



第2部 グループトーク

参加者全体に向けて川崎市のごみの行政計画の概要・トークテーマの背景について講義を行った後、6班(各4~5名)に分かれ3つのテーマについてどうすれば周りの人や友人の行動変容に繋げられるかをグループトーク。各班が設定した身近なターゲットに向けた解決策を発表していただきました。素晴らしいアイデアがたくさん出ました！



plastic
若い人にプラスチックごみの一括回収を周知するにはショート動画やYouTubeを利用が効果的！

プラスチックごみや環境についての教育が必要！

plastic
「ごみ分別チャレンジ」「プラスチックゼロキャンペーン」などのイベントはどうか…

トークテーマ

- 燃えるごみに入ってしまうプラを減らす対策として何ができる？
- 燃えるごみに入ってしまう衣類などの対策
- 食品ロスを減らす対策

plastic
商品に捨て方も書いてあるとわかりやすい！
忙しいから分別が面倒くさい…余裕のある暮らしが大切！
プラごみ用と燃えるごみ用の袋をセット販売するといいかも…



fashion
学校の制服はレンタルにする。
駅や生活の中でのよく使う場所に古着回収BOXを増やす！



food loss
ボックスを使って冷蔵庫の中の賞味期限見える化。
期限が近くなるとお知らせが来るアプリがあると便利！



参加者の感想

- 大学生の方と暮らしにまつわる環境問題に向き合うことができ貴重だった。
- 話し合いを通して、根本的な課題について考えることができた。
- 色々な人の意見を聞きながら考えるのがおもしろかった。
- 普段は中々考えない事を考えて、理解を深めることができたので良かった。
- 話し合いながら、対策を考えることができ、家庭でも実践したいことがあった。
- 自分とは違う年代の人と話すことで、違う考え方を取り入れられたから。
- 一つのテーマについて協力して考えることができた。
- もう少しスケジュールに余裕がほしい。
- お菓子が充実して班のメンバーとも楽しく会話できた。
- 短時間ではあったものの、他の人の意見が聞けたのでよかった。
- 発表が苦手だけど、発表者になっていい経験になった。
- 普段あまり会わない大学生と交流して、一人暮らしの現状など、普段とは別の視点でゴミの分別について考えることができた。

- 短い時間で初対面の方と発表までもっていくのはハードルがあったが、市の方のサポートで助かった。
- 全体説明の中で模造紙作成、ターゲット設定の目的、効果など発表のコツ、議論の方向づけのコツなどに少しふれているとよりスムーズかと思う。
- 自分の興味関心のあるテーマについて今後どうしたらいいかを話し合い、対策を考えられた。
- 色んな人と意見交換すると自分では思いつかない案がでてよかった。
- 職員の方がフォローに入ってくださり、模造紙のレイアウト見本があったりとサポートが手厚く、非常にグループワークが進めやすかった！
- 対話をしながら進められたので、雰囲気もよくできた。
- 4人組、時間も適切で取り組みやすかった。他のグループへの質疑応答の時間があると良いと思った。
- その日出会った人とのグループワークをしたことがなかったのでもいい刺激になった。
- 企業への働きかけも必要になるなど多様な意見を聞き、より環境を考えるきっかけになった。
- おもしろい話だった。

川崎市ごみゼロカフェ

検索